科目名 Course Title		
関数解析講究-a、関数解析実習-a (Seminar on Functional Analysis -a • Practical Class on Functional Analysis -a)		
学科·専攻 Department/Program		受講年次 Grade
多元数理科学研究科		
授業形態 Class style		必修・選択の別 Compulsory or Elective
講究・実習		
時間割コード Registration code		開講期・曜日・時限 Semester,Day & Period
1610071		通年 担当教員より指示がある。曜:担当教員より指示が ある。時限
単位数 Credit		科目区分 Course type
4		
担当教員 Instructor	山上 滋 (Shigeru Yamagami)
所属研究室 Laboratory		
連絡先 Contact	yamagami@math.nagoya-u.a	c.jp
居室 Room A349		

講義の目的とねらい Course purpose

テーマ 量子解析学による数学の実践

履修要件 Prerequisite

関数解析を中心に学部レベルの数学的素養があること。 量子力学についての教養レベルの知識があること。

成績評価 Grading

発表とレポートの内容により評価する。

関連する科目 Related courses

解析学概論Ⅰ、数理物理学Ⅰ、数理物理学Ⅱ

他学科学生の聴講について About attend other

<可否> 可能

<条件>

事前に相談のこと

教室 Class room

A358(予定)

レベル Level

キーワード Keyword

フーリエ解析 作用素解析 ヒルベルト空間

履修の際のアドバイス Advice

知っていることが望ましい知識:

関数解析を中心に学部レベルの数学的素養。量子力学についての教養レベルの知識。

詳しいことは、メール等で相談のこと。

授業内容 Content

内容: 標題の「量子解析学」は広い意味で解釈していただくとして、ここでは、ヒルベルト空間に基づくものを扱います。今回は、無限量子系の数学的方法と題して、その基礎をセミナー形式で学びます。

量子力学について、入門レベルの経験を前提としますが、これについてはセミナーと並行して補うことも可とします

数学的な予備知識としては、関数解析とフーリエ解析の共通部分が必要となりますが、ここではとくに線型代数的な内容の習熟が重要です。

テキストは、関連する話題の基本的なところを網羅するとスタイルの物理的なものと、 それを支える数学的な内容のものを併用し、必要な数理解析を自ら実践することを目標とします。

実施方法:

前期・後期を通じて、

週1回2時間程度の割合でテキストを輪講していきます。

発表に際しては、入念な準備の下、ノートを作成し、しかしノートの類は手にせず、 黒板を使って行うこととします。

また、読み解いた内容の TeX 形式による記録を、複数回提出していただく予定です。

教科書 Textbook

教科書

F. Strocchi, Elements of Quantum Mechanics of Infinite Systems, World Scientific, 1985.

http://www.math.nagoya-u.ac.jp/~yamagami/teaching/lecture2014.pdf

参考書 Recommended reading

参考書

http://www.math.nagoya-u.ac.jp/~yamagami/teaching/oarep2014.pdf

http://www.math.nagoya-u.ac.jp/~yamagami/teaching/clifford.pdf

連絡方法 Contact method

メールあるいはオフィスアワー時(水曜12:30-13:30)に直接研究室へ

その他 Remarks

オフィスアワー:水曜12:30-13:30、A349